

フランス大使館は今年も日本における大切な映画の出会いの場である、
二つの映画祭、大阪ヨーロッパ映画祭と東京フィルメックス を支援します。

第19回 大阪ヨーロッパ映画祭

19th OSAKA EUROPEAN FILM FESTIVAL

第19回 大阪ヨーロッパ映画祭

エルセラーンホール・パンケットルーム 2012年11月23日—26日

ヨーロッパの最新映画を通して、世界の今に、ここで出会う

1994年以来、18年間の歴史を通し、大阪ヨーロッパ映画祭は 文化と教育の面から日本とヨーロッパの絆を深くすることを目的に、ヨーロッパ映画と日本の人々との架け橋として重要な役割を果たしてきました。そして大阪ヨーロッパ映画祭は日本を代表する映画イベントのひとつとなり、アジアにおいてヨーロッパ映画を披露する重要な場としての地位を築きあげました。

毎年、フランス映画に敬意を表し。本年は10本以上の作品、フランスまたフランスとの共同制作作品を紹介します。

- ◇ 「シスター」 (監督 ウルスラ・メイヤー、スイス、フランス 合作)
- ◇ 「心の陽だまり」 (監督 フィリップ・クローデル、Cast ステファノ・アコルツ、クロティルド・クロ、アヌーク・エーメ)
- ◇ 「モンスター・イン・パリ 響け！ 僕らの歌声」 (監督 ビボ・バージェロン、Cast 声の出演：ヴァネッサ・パラディ、ショーン・レノン)

<http://www.oeff.jp>



第13回東京フィルメックス

有楽町朝日ホール・東劇・TOHOシネマズ日劇 2012年11月23日(金)~12月2日(日)



第13回東京フィルメックス

有楽町朝日ホール・日劇・TOHOシネマズ日劇 2012年11月23日—12月2日

東京フィルメックスは 日本独創的な作品をアジアを中心とした世界から集めた国際映画祭映画を愛するシネフィルの集合場所です。コンペティション部門では新進作家を紹介し、優れた作品を顕彰してバックアップしています。また、最先端をいく注目作や、海外の国際映画祭を賑わせた話題作を、先駆けて上映し、内外からは来日する監督や映画人と観客との交流の場を設けます。

本年、東京フィルメックスでは、以下の2本の作品、フランス またはフランスとの共同制作作品が紹介されます。

- ◇ 『父へのララバイ』 Lullaby to My Father (監督：アモス・ギタイ (Amos GITAI) ジャンヌ・モロー主演)
- ◇ 『3人のアンヌ』 In Another Country / Da-Reun Na-Ra-E-Suh (監督：ホン・サンス、大女優イザベル・ユペールを主演配給：ビターズ・エンド)

<http://filmex.net/2012/>